



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# (株)レインズインターナショナル

## 一起業家輩出機関

焼き肉店「牛角」などを展開するレインズインターナショナル(2005年5月より持ち株会社レックス・ホールディングス設立により、その外食事業子会社となった)は、2004年12月期連結決算で売上高が59%増の804億6,600万円、営業利益が前期比20%増の46億9,900万円となったと発表した。

レインズインターナショナルは、20歳代から30歳代を対象を絞り込んだ店づくりや、外食チェーンであり前例のなかった商店街への出店により成長を遂げてきた。主力ブランドである焼肉店「牛角」は、1995年10月の1号店オープン以来、10年間で841店(2004年12月)を超える日本一の焼肉チェーンにまで成長した。

しかし2004年度は、BSE(牛海綿状脳症)問題や鳥インフルエンザの影響で、フランチャイズ加盟店が出店を手控えたため、加盟店収入や店舗工事収入は伸び悩んだ。しかし昨夏以降に買収したコンビニエンス・ストア・チェーンのイーエム・ピーエム・ジャパンと、高級スーパーの成城石井が業績を押し上げる結果となった。

増加した売上高のうち、買収によって加算された連結売上高は、コンビニ事業(3カ月分)で約101億円、スーパー事業(4カ月分)で125億円強であり、外食事業自体の売上高は18%増だった。

また営業利益では、加盟店が出店を控えて、採算のよい店舗工事が落ち込んだため、外食事業はほぼ横ばいにとどまったが、コンビニ事業の営業利益4億8,900万円と、スーパー事業の5億1,300万円が利益増に貢献した。

とはいえ、最終損益では122億3,000万円の赤字(前の期は18億2,900万円の黒字)を計上した。「am/pm」の子会社化に伴って発生したのれん代を、特別損失で一括償却したことが響いた。しかし年間配当は2,500円で、株式分割を勧案すると実質増配となった。

2005年12月期予想では、売上高1,400億円(前期比74%増)、営業利益69億円(同47%増)を見込む。コンビニとスーパーの両事業が通期で寄与するうえに、外食事業との相乗効果で収益力を高める計画である。外食店とコンビニ、スーパーを合わせた今期末の総店舗数は約2,930店(前期比5%増)となる見通しである<sup>1</sup>。

<sup>1</sup> 日本経済新聞 2005年2月18日